

氏 名 池田哲朗

所 属 薬学部

職 種 准教授

[学 歴]

広島大学 歯学部 歯学科卒業（歯科医師）

[学 位]

広島大学大学院 歯学研究科 歯学基礎系（歯学博士）

[受 賞]

Award for postdoctoral Visiting Fellow in the NIH Visiting Program（Research Scholar from US government.）

日本リウマチ学会 国際ワークショップ賞

2021～2023 年度 科研費基盤 C 獲得

2024～2026 年度 科研費基盤 C 獲得

2024 年度 青森学術文化振興財団助成金獲得

2025 年度 青森学術文化振興財団助成金獲得

2026 年度 青森学術文化振興財団助成金獲得

[所属学会]

日本口腔ケア学会（評議員） 日本薬理学会（評議員） 日本生理学会（評議員）

日本リウマチ学会 日本神経科学会 日本神経化学会 日本免疫学会 日本生物学的精神医学会 日本臨床神経生理学会 Society for Neuroscience 歯科基礎医学会

[教育活動]

[担当科目]

薬学部：薬理学Ⅱ（疾患と薬理作用Ⅱ）、薬物治療学Ⅱ（病態と治療Ⅰ）、薬理学実習、薬学特論Ⅰ～Ⅲ、薬学特論Ⅳ～Ⅷ、卒業研究、薬学セミナー（Adv.）

[卒業研究指導]

2020 年度 1 名

2021 年度 2 名

2022 年度 6 名

2023 年度 8 名

2024 年度 8 名

2025 年度 8 名

[ゼミ指導]

薬学部担任制で各学年 1～2 名を指導

[研究テーマ]

神経、免疫に関する研究

[著書、論文、総説]

論文

Ikeda T, Kobayashi S, Morimoto C. Effects of repetitive transcranial magnetic stimulation on ER stress-related genes and glutamate, γ -aminobutyric acid and glycine transporter genes in mouse brain. Biochem Biophys Rep. 2018 Nov 12;17:10-16.

総説

池田哲朗*, 森本幾夫, 土肥敏博「反復経頭蓋磁気刺激法を用いた精神疾患・高次脳機能障害の新規治療法の開発」 月刊メディカル・サイエンス・ダイジェスト 51(3) 2025年

[学会発表]

- 「反復経頭蓋磁気刺激法によるノルエピネフリン神経系への影響」 池田哲朗 第42回・43回Fm θ 研究会 2021/4/24 Web開催
- 「心室筋細胞モデル (Virtual Cardio Myocyte) を用いた心室筋細胞の興奮収縮連関のシミュレーション実践報告」池田哲朗 第19回 東北シミュレーション医学医療教育研究会大会, 福島 (Hybrid開催), 2022年5月.
- 「局所麻酔薬メピバカインの末梢における血管収縮作用機序の検討」齋藤良介 池田哲朗 第96回日本薬理学会北部会, 札幌, 2022年9月.
- 「局所麻酔薬メピバカインの末梢における血管収縮作用効果の検討」池田哲朗 第96回日本薬理学会年会, 横浜, 2022年11月.
- 「反復経頭蓋磁気刺激法により判明したシグナルカスケードを利用した新薬の探索」 池田哲朗 第45回Fm θ 研究会 (日本臨床神経生理学会), 大阪 (Hybrid開催), 2023年3月
- Tetsurou Ikeda, Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation (rTMS) induced NET (norepinephrine transporter) and NET b regulate the expression of caspases mRNA and protein activities on PC12 cells, Neuroscience 2023 November 11-15, Washington, D.C.
- 「L-DOPA は GPR143 を介して局所麻酔効果時間を延長させる」 池田哲朗 第97回日本薬理学会年会, 神戸, 2023年12月
- 「反復経頭蓋磁気刺激法 (rTMS) 誘導 NET(ノルエピネフリン・トランスポーター) + NETb は PC12 細胞においてカスパーゼファミリーの mRNA、酵素活性を調節する。」池田 哲朗 日本薬学会 第144年会, 横浜, 2024年3月
- 『青森大学薬学部での「口腔ケア」教育の取り組み』 池田 哲朗 日本口腔ケア学会 第21回年会 東京 2024年4月

- 「Cyanidin-3-glucoside(C3G)の慢性炎症関連遺伝子発現 (aP2) に与える影響」 淀川 彩葉、小甲 絢斗、上家 勝芳、池田 哲朗、益見 厚子 日本薬学会第145年会 福岡 3月
- 「反復経頭蓋磁気刺激法(rTMS)誘導 NET(ノルエピネフリン・トランスポーター) + NETb はPC12細胞においてカスパーゼ mRNA、酵素活性を調節する」池田 哲朗 森本幾夫 APPW2025 千葉 2025年3月
- 「Cyanidin-3-glucoside(C3G)の線維化に対する効果の検討」 舘山 菜月、高橋 佳輝、池田 哲朗 日本薬理学会 北部会 札幌 2025年10月
- 「Cyanidin-3-glucoside(C3G)は Imiquimod 刺激後 RAW 細胞の炎症関連遺伝子および細胞死を抑制する」 川政 一茶、舘山 菜月、小甲 絢斗、高橋 佳輝、上家 勝芳、益見 厚子、池田 哲朗 日本薬理学会 北部会 札幌 2025年10月
- 「反復経頭蓋磁気刺激法(rTMS)誘導 NET(ノルエピネフリン・トランスポーター) + NETb はPC12細胞においてカスパーゼ3 mRNA、酵素活性を調節する」池田 哲朗、齋藤 良介、舘山 菜月、川政 一茶、森本 幾夫 日本薬理学会 北部会 札幌 2025年10月

[学内各種委員]

全学 図書委員会 委員 2024年4月～

薬学部 図書委員会 委員長 2024年4月～

全学 組換えDNA実験委員会 委員長・安全主任 2025年度

薬学部 組換えDNA実験委員会 委員長 2025年度

薬学部学生実習委員会 2020年4月～

薬学部6年演習委員会 卒試対策委員長 2022年4月～2023年3月

全学 組換えDNA実験委員会 委員 2022年4月～2025年3月

薬学部 組換えDNA実験委員会 副委員長 2022年4月～2025年3月

薬学部4年演習委員会 委員長 2021年度

薬学部教務委員会 2021年度

全学教務委員会 2021年度

薬学部学生募集タスクフォース 2020年度

薬学部入試関連：選抜委員会 2020年4月～2023年3月

薬学部入試委員会 2023年4月～2025年3月

薬学部総合的支援担当 2020年度

薬学部実験動物委員会 2020年4月～2023年3月

薬学部卒業研究委員会 2020年4月～2023年3月